

## 2021年度事業計画書案

自 2021年 4月 1日  
至 2022年 3月31日

# 目 次

1. 基本方針 .....	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業 .....	1
1) 2021年度定時総会の開催 .....	1
2) 理事会の開催 .....	1
3. 委員会の開催に関する事業 .....	2
1) JAPAN PACK 2022 実行委員会 .....	2
2) 包装学校企画運営委員会 .....	3
3) 広報推進委員会 .....	4
4) 技術委員会 .....	4
5) ISO/TC313国内審議委員会 .....	5
6) IOT研究会 .....	5
4. 会員等諸会合の開催 .....	5
1) 歳末特別講演会の開催 .....	5
2) 新年賀詞交歓会の開催 .....	6
3) 支部役員会・支部会の開催 .....	6
5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業 .....	6
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査 .....	6
2) 技術情報の収集・提供等 .....	6
3) 各種情報の発信等 .....	7
6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業 .....	7
1) 包装学校 .....	7
2) 青年部会 .....	7
3) 各種セミナー・講習会 .....	8
7. 国の施策に関する事業 .....	9
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業 .....	9
8. その他関連事業 .....	9
1) 包装機械会館の運営に関する事業 .....	9
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業 .....	9
3) 福利厚生に関する事業 .....	9
4) 関連産業との連携 .....	9

## 1. 基本方針

2020年度は、海外経済の減速や新型コロナウイルスなどの影響により、先行きに対する不透明感が高まり、設備投資が手控えられた。2020年度の生産高、輸出高はともに減少となる見込みである。

経済産業省発表の生産動態統計（確報値）によると、1-12月は金額ベースで対前年度比5.2%減、また財務省発表の貿易統計（速報値）は、輸出が対前年度比0.4%減となっている。

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、日本経済の見通しは厳しい状況が続くものと思われまます。当会としては、包装機械および関連業界の情報収集をはじめ、国・自治体の企業支援のための様々な施策等、会員企業に対し情報提供を行い、当会の事業活動がより活発になるよう、発展に努めてまいります。また当会の主力事業の一つであるジャパンパックの開催年となっております。東京オリンピックの1年延期に伴い、当展も会期を延期しての開催となります。引き続き、会員各位の一層のご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

定款に基づく定時総会・理事会の開催、当会内規に基づく支部役員会・支部会の開催をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

### 1) 2021年度定時総会の開催

定款の規程に基づき、2021年度定時総会を開催し、2020年度事業報告の審議・承認ならびに理事・監事の役員候補者の承認（本年度は退任に伴う補充のみ）、2021年度事業計画案・収支予算案の報告を行う。

月 日：2021年 5月27日（木）

会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）

### 2) 理事会の開催

定款の規程に基づき、2021年5月、9月、12月、2022年3月の計4回理事会を開催し、2021年度の役員体制、事業の進捗状況、役員の業務執行状況等の確認・審議・承認を行い、事業の円滑な推進に努める。

※第353回理事会

月 日：2021年 5月27日（木）

会 場：鉄鋼会館 704号室（東京都中央区）

※第354回理事会

月 日：2021年 9月15日（水）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

※第355回理事会

月 日：2021年12月 1日（水）

会 場：（未定）

※第356回理事会

時 期：2022年 3月

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

### 3. 委員会の開催に関する事業

JAPAN PACK 2022 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、技術委員会、青年部会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努める。

#### 1) JAPAN PACK 2022 実行委員会

JAPAN PACK 2022 実行委員会（委員長：山本 治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化および国民生活向上への寄与、貿易の振興、ひいては包装機械業界ならびに関係業界の発展を目的として、2022年2月に「JAPAN PACK 2022 日本包装産業展」を開催するため、下記のとおり委員会活動を推進する。

JAPAN PACK 2022の会期は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期等に伴い、2022年2月15日（火）から同月18日（金）までの4日間となる。会場は当展史上初めて、東京ビッグサイト西・南展示棟を使用する。包装機械、包装材料をはじめ、サプライチェーンにおける多様な最新技術との連携を通じた350社・2,000小間の展示公開をはじめ、講演会やセミナー等の特別企画も併催し、食品、医薬品、化粧品、日用品、工業製品等の各種生産において喫緊の課題である人手不足解消、製造・物流コスト低減、省エネ・省資源化、安全安心・衛生性向上、さらにはSDGs対応やAfter/Withコロナ対策等の解決策を「包程式」として発信し、会員および関係企業に対してビジネス拡大の機会創出を目指す。目標来場者数は会期4日間で40,000人を目論む。

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大によりフィジカル展への参画意識に変化がみられる中、各種非接触・ソーシャルディスタンス対応の徹底とともに、バーチャル展示会併催によるマッチング機能強化等の質的拡充にも注力する。

#### ※開催説明会

月 日：2021年 4月 7日（水）

会 場：オンライン

内 容：包装機械業界動向、開催要旨説明

#### ※展示会活用セミナー

月 日：2021年 4月 7日（水）

会 場：オンライン

主 題：フジキカイの展示会活用方法

講 師：生田 涌希 氏

株式会社フジキカイ 代表取締役社長

#### ※第5回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年 5月14日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

#### ※第6回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年 7月（予定）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

※JAPAN PACK Online 2022開催説明会

月 日：2021年 7月（予定）

会 場：オンライン（予定）

※第7回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年 9月（予定）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

※第6回実行委員会

月 日：2021年 9月（予定）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

※出展者説明会

月 日：2021年10月（予定）

会 場：オンライン（予定）

※実施概要記者発表会

月 日：2022年 1月（予定）

会 場：オンライン（予定）

※JAPAN PACK 2022 日本包装産業展

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西・南展示棟

※上記の他、適宜委員会活動等の推進

## 2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 取締役管理本部長）は、包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象に、本年7月から開講の第48期包装学校の運営ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、活動を計画・推進する。

※第107回包装学校企画運営委員会

月 日：2021年 5月25日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第48期開講式・オリエンテーション

月 日：2021年 6月18日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

月 日：2021年 6月25日（金）

会 場：大阪商工会議所（大阪府中央区）

※第108回包装学校企画運営委員会

時 期：2021年11月

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第109回包装学校企画運営委員会

時 期：2022年 1月

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第48期ディスカッション・修了式

月 日：2022年 3月10日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
月 日：2022年 3月17日（木）  
会 場：大阪商工会議所（大阪府中央区）

### 3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章 氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンブランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に寄与する。

※日本包装機械工業会セミナー「持続可能な社会の実現のために」

月 日：2021年 4月 9日（金）

会 場：オンライン

主 題：持続可能な社会の実現のために ～DNP環境配慮パッケージング  
GREEN Packaging～

講 師：柴田 あゆみ 氏

大日本印刷株式会社 包装事業部 マーケティング戦略本部  
事業開発部 環境ビジネス推進グループリーダー

※第18回広報推進委員会

月 日：2021年 6月 8日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

※日本包装機械工業会セミナー「冷凍食品業界の最新動向とAI技術」（仮称）

および意見交換会（予定）

月 日：2021年 6月22日（火）

会 場：オンライン

※冷食JAPAN 2021参加協力（セミナー開催）

月 日：2021年10月（予定）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）（予定）

※JAPAN PACK 2022連携企画

月 日：2021年 2月（予定）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）（予定）

※リサイクル工場見学会（仮称）の開催

月 日：（未定）

会 場：（未定）

※ウェブ版機関誌『パッケージ&マシン通信』発行（原則月2回）

※上記の他、講演会・専門セミナー、工場見学会の適宜開催

### 4) 技術委員会

#### (1) 産学・産産連携

2020年度に続き、業界共通の技術課題を討議し、研究テーマを決めるとともに、課題として挙げられた、包材系テーマと自動化系テーマの具体的な施策として、継続的に包材メーカーと会員が意見交換する場や技術セミナー、工場見学、等を企画、実行する。

## (2) 講演会、セミナー、工場見学の企画及び開催

デジタル技術や環境問題をテーマに、講演会・セミナー、工場見学会を企画し、実施する。

## (3) 各種法令の対応

計量法改正、等に対する説明会の開催や対策を討議する。

## (4) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」和文のみを広く包装機械・関連機器メーカーへの頒布を継続する。

## 5) ISO/TC313国内審議委員会

包装機械におけるEN415規格のISO化(ISO/TC313)に伴って、ISO国際会議への参加を含み、平成29年度に発足した「ISO国内審議委員会」の運営を継続・充実させる。新ISO規格を基にしたJIS規格の着手を計画する。

※ISO国内審議委員会は、4回/年を予定  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※ISO/TC313/WG1国際会議  
月 日：2021年8月17日（火）～19日（木）  
会 場：オンライン会議

※ISO/TC313/WG1国際会議  
月 日：2021年10月 5日（火）6日（水）  
会 場：オンライン会議

※ISO/TC313国際会議  
月 日：2021年10月28日（木）  
会 場：オンライン会議

## 6) IOT研究会

当業界共通の課題に対してIOTを切り口として、一つでも解決に導き、包装産業界に求められるIOTの活用を目指す。会員企業の中堅・若手メンバーを中心に、東京都立産業技術研究センターとの協力関係を維持しながら、今年度も、デジタル技術情報の収集やP&M通信やホームページを活用して会員企業へデジタル技術を発信してゆく。

※研究会開催は3回/年を予定。  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

## 4. 会員等諸会合の開催

定款に基づき歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

### 1) 歳末特別講演会の開催

2021年12月1日（水）に歳末特別講演会を開催し、会員間の情報交換を推進する。

月 日：2021年12月 1日（水）  
会 場：(未定)

## 2) 新年賀詞交歓会の開催

2022年1月12日(水)に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、株式会社日本包装リース合同主催の2022年新年賀詞交歓会を開催する。

月 日：2022年 1月12日(水)  
会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

## 3) 支部役員会・支部会の開催

2021年度事業報告ならびに2022年度事業計画の報告ならびに会員企業からの意見・要望の聴取を目的として東日本支部会、西日本支部会を開催する

※第1回東日本支部会  
時 期：2022年 3月

※第1回西日本支部会  
時 期：2022年 3月

## 5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進する

### 1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカーを調査対象として、2020年度の生産高と輸出入高ならびに2021年度の生産計画の調査を実施する。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開する。

### 2) 技術情報の収集・提供等

#### (1) 技術センター事業

技術委員会で工業会における技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定する。そして技術委員会で決定した事業に取り組む。

また、従来検査センターの事業として行ってきた、包装機械および関連機器の安全性・衛生性高度化の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを継続する。

#### (2) 包装技術相談と引き合いの斡旋

国内外のユーザーからの包装機械・関連機器等に関する各種技術相談を受け付け、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努める。

#### (3) 機械安全・衛生指導事業

①CEマーキング、リスクアセスメント、「包装・荷造機械の安全基準－2013」等、安全／衛生の技術相談に対応する。

②包装機械が、「包装・荷造機械の安全基準－2013」・「包装・荷造機械の衛生基準－2018」に適合しているかの相談業務を行う。

#### (4) 「包装・荷造機械の衛生基準－2018」の普及、啓蒙、指導

2017年度に当会の自主基準である「包装・荷造機械の衛生基準－2018」を制定し、会員企業を中心にユーザー業界等に配布したが、本年度は昨年度に引き続き、本基準がわが国の包装機械製作の際の基準であることの普



及、啓蒙ならびに指導に努める。

### (5) 各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、会員企業をはじめ広く一般に公開する。

## 3) 各種情報の発信等

### (1) 機関媒体の発行に関する事業

WEB版機関誌「パッケージ&マシン通信」(A4サイズ・購読料無料)を毎月2回メール配信し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計(経済産業省)、貿易統計(財務省)等情報の包装機械業界およびユーザー業界へ周知・広報により、包装業界と需要業界を結ぶ橋渡し役を担う。

## 6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業

### 1) 包装学校

わが国包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象として、昭和49年度から包装学校を開講しているが、昨年度の第47期までの修了者は4,955名を数え、包装機械業界はもとよりユーザー業界からも包装機械に関する唯一の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

本年度は2021年6月から2022年3月までの10カ月間、第48期包装学校を開講して、包装機械業界ならびにユーザー業界包装担当者の人材育成・高度化に努める。

尚、座学講座をオンデマンドビデオ配信システムへ移行し、受講生は講義を職場や自宅など場所を選ばず、自由な時間に繰り返し、柔軟に受講できるようにする。座学以外の開校式・オリエンテーションやグループディスカッション、設計講座・マイコン講座の実習講座などの従来のリアルな対面講座とのハイブリッド型カリキュラムとする。

各課程の受講料(税別)は次の通りである。

NO	課程名	会 員	非会員
1	包装機械設計技術専門課程	¥340,000	¥390,000
2	パッケージングエンジニア専門課程	¥320,000	¥370,000
3	マイクロコンピュータ制御技術専門課程	¥110,000	¥160,000

注意) マイコン制御技術専門課程は、PLCメカトロ制御講座の1講座のみ開催

### 2) 青年部会

青年部会(部会長:青木 康哲氏 日本工業刃物株式会社 社長)は、次代の経営幹部の育成ならびに会員相互の親睦を図るため、当会工業会の定款に定める目的に従い以下の部会活動を推進する。

#### ※国内工場見学会

月 日: 2021年 4月14日(水)

会 場: 株式会社フジキカイ THE BASE NAGOYA  
(愛知県北名古屋市)

#### ※2021年度定時総会

月 日：2021年 4月14日（水）  
会 場：株式会社フジキカイ THE BASE NAGOYA  
（愛知県北名古屋市）

※夏季セミナー

月 日：2021年 9月 8日（水）～9日（木）（予定）  
会 場：軽井沢近郊または東京近郊（予定）

※青年部会創立40周年記念事業

① 記念式典

月 日：2021年10月 8日（金）  
会 場：KKRホテル東京（東京都千代田区）（予定）

② 記念誌の発行

※新年情報交換会

月 日：2022年 1月11日（火）  
会 場：（未定）

※第2回JBCM・JPMA青年部会交流会

月 日：（未定）  
会 場：KKRホテル東京（東京都千代田区）（予定）

※会員名簿PDF版の運用

※上記の他、国内工場見学会、講演会等適宜計画予定

※その他、一般社団法人日本包装機械工業会の定款に定める目的に従って活動を促進するとともに、次代の経営幹部の育成並びに会員相互の親睦を図る。

※上記各事業計画については、政府や自治体・各省庁による社会情勢や自然災害、感染症等に関する方針・発令があった場合は、その限りではない。

### 3) 各種セミナー・講習会

#### (1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会開催

日本包装機械工業会は職業能力開発総合大学校、（一社）安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を継続開催する。

開催場所・・・職業能力開発総合大学校（小平市）

① 機械の安全化と国際安全規格（2日）  
2021年12月 9日（木）、10日（金）

② 機械安全におけるリスク低減（2日）  
2022年 1月13日（木）、14日（金）

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認（2日）  
2022年 2月 9日（水）、10日（木）

④ 電気と制御システムの安全設計編（2日）  
2022年 3月 3日（木）、 4日（金）

上記①～④修了者に「修了証明書」を発行する。

#### (2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

##### 「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会開催

高度ポリテクセンターと共催で講習会を開催する。

関東会場 高度ポリテクセンター（定員：15名）  
2021年11月15日（月）、16日（火）

関西会場 ポリテクセンター関西（定員：15名）  
2022年 2月16日（水）、17日（木）

## 7. 国の施策に関する事業

### 1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

2017年7月にスタートした「中小企業等経営強化法」の証明書発行団体として、2017年8月から証明書の発行を開始し、ユーザー業界への設備投資促進に努め、累計7,558通の証明書を発行した。  
本年度も引き続き証明書の発行を行い、わが国包装機械・関連機器の販売促進に努める。

## 8. その他関連事業

### 1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しを促進すると共に包装機械会館の運営・保守保全に努める。

### 2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに出資業務・アドバイザー業務などの会員向けサービスの利用促進に努める。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努める。

### 3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努める。

### 4) 関連産業との連携

(一社)日本食品包装協会、(一社)日本粉体工業技術協会をはじめ、包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携や、包括連携協定を締結している東京工科大学工学部との連携、ならびにCLOMA等の官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努める。